

第 1 回 日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場建設検討委員会 議事要旨

日時：令和 4 年 12 月 21 日（水） 13:30～16:00

場所：西郷町ニューホープセンター（美郷町）

■ 出席者

- | | | |
|-------------|-------|----------------------|
| (1) 委員 | 土手 裕 | (宮崎大学工学部教授) |
| | 原田 隆典 | (宮崎大学工学部名誉教授) |
| | 山田 大志 | (NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク) |
| | 菊田 正光 | (美郷町区長会長) |
| | 小野 圭一 | (美郷町花水流地区区長) |
| | 松本 恵喜 | (美郷町花水流地区) |
| | 小野 和久 | (美郷町小川地区) |
| (2) 事務局 | 田中 秀俊 | (広域連合 副連合長) |
| | 黒木 秀樹 | (広域連合 副長) |
| | 甲斐 正修 | (門川町 環境水道課 課長) |
| | 田村 靖 | (美郷町 町民生活課 課長) |
| | 甲斐 一喜 | (諸塚村 住民福祉課 課長) |
| | 黒木 治実 | (椎葉村 税務住民課 課長) |
| | 吉田 健二 | (広域連合 事務局長) |
| | 田中 美利 | (広域連合 局長補佐兼業務第 2 係長) |
| | 黒木 裕也 | (広域連合 業務第 1 係長) |
| | 尾前 貴大 | (広域連合 業務第 1 係主査) |
| (3) コンサルタント | 林 正樹 | (株式会社建設技術研究所) |
| | 和田 崇史 | (株式会社建設技術研究所) |

(以上、敬称略)

■ 内容

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 あいさつ（副広域連合長）
- 4 委員等の紹介
- 5 委員会の設置及び運営について
- 6 委員長・副委員長の選出
- 7 協 議（議事進行：委員長）
 - （1）建設検討委員会の会議ルールについて
 - （2）建設検討委員会における協議事項につて
 - （3）次期広域最終処分場基本構想（案）について
 - （4）その他
- 8 閉会

■ 配付資料

- 資料 1-1：次期広域最終処分場建設検討委員会設置要綱
- 資料 1-2：次期広域最終処分場建設検討委員会の会議ルールに関する取扱い（案）
- 資料 1-3：オンラインを利用した会議出席等の取り扱いについて（案）
- 資料 1-4：建設検討委員会における協議事項
- 資料 1-5：次期広域最終処分場基本構想（案）
- 資料 1-6：次期広域最終処分場基本構想（案）協議事項の抜粋
- 参考資料：今後のスケジュールについて

1. 開会

○配布資料の確認。

2. 委嘱状の交付

○副連合長から委員を代表して土手委員長に委嘱状を交付。

3. あいさつ

○副広域連合長からあいさつ

4. 委員等の紹介

5. 委員会の設置及び運営について

○事務局より【資料 1-1】に基づき説明。

6. 委員長・副委員長の選出

○土手委員を委員長に選出。

○大榮委員を副委員長に選出。

7. 協議事項

(1) 建設検討委員会の会議ルールについて

○事務局より【資料 1-2】【資料 1-3】に基づき説明。

委員 : 今後のスケジュールはどのように考えているのか。

事務局 : 本年度内に基本構想を策定し、来年度の予備調査に向けて地元へ調査実施の説明をしていきたいと考えている。予備調査結果が出てから、来年度中に地元と基本同意を締結できるよう説明を行っていきたいと考えている。

委員 : 地元に必要な説明を行いながら進めて行ってほしい。

委員 : まだ候補地であることを強調しておく。情報を公開する際は、まだ候補地であることを十分に注意して発表してほしい。

委員 : 委員会等で決まった内容が発表された時に地元が知らないということはないように、先に地元へ説明を行ってから発表してほしい。

委員長 : 記者発表については、協議内容によって事前に地元へ説明することと併せて、会議の都度、発表の時期と内容を検討していくことで修正する。

(2) 建設検討委員会における協議事項

○事務局より【資料 1-4】に基づき説明。

- 委員 : 資料の量が多いため、もう少し早めに受け取れるように手配してもらいたい。
事務局 : お手元に早く届くように努力する。

(3) 次期広域最終処分場基本構想（案）について

○事務局より【資料 1-5】【資料 1-6】に基づき説明。

- 委員 : 住民説明会の結果を反映したとあるが、住民説明会とは花水流でのものだけか。
事務局 : 三次候補地の 3 か所での説明会の結果を示している。
委員 : 対象地域の隣接地区で説明会がない。今後、近隣地区での説明会はしないのか。
事務局 : 今後、住民説明会は対象範囲を近隣住民や流域の方々、関係団体に広げて実施することを考えている。
委員 : 埋立地内に降った雨水はどのように流すのか。
事務局 : 廃棄物に触れた雨水は浸出水であり、浸出水処理施設で水質を改善して河川へ放流する。
委員 : 放流水は直接河川に放流するのか。水生生物がいる水槽を経て流す等は考えているのか。
事務局 : 放流水のモニタリング方法は今後検討したいと思う。
委員 : 流域の大きさに対して防災調整池は十分な大きさがあるのか。小さい印象を受けるが。
事務局 : 現時点では想定の大きさに配置している。現行基準上問題ない大きさだと認識している。最終的には県と協議しながら大きさや構造は決定していくこととなる。
委員 : コンセプトとしては、安全安心の施設を目指すこと、環境に考慮することに合わせて、地域融和を考慮していることはよいと思う。
委員 : 安全な施設はわかるが、安心な施設というのは厳密にはおかしい。
事務局 : 次期広域最終処分場は構造上も施設面も安全なものを造り、そういう担保があるからこそ住民の皆様が安心できるというものを目指していきたいと考えている。
委員 : 事業系ごみとはなにか。リサイクル不適物とはなにか。
事務局 : 事業系ごみとは会社やお店などから出るゴミのうち産業廃棄物以外のゴミである。そのため、産業廃棄物とは異なる。
リサイクル不適物とは、分別されていない物や汚れがひどいものなどがある。

委員 : 最終処分場について地元の人でもわかるように、かわら版等ではわかりやすい説明を心掛けてほしい。自分たちのごみがどのように処理されているかも含めて情報発信してほしい。

事務局 : 小学校の課外学習で施設内の見学等を行っている。その際の説明方法等を考慮して情報発信する。

(4) その他について

○事務局より説明。

事務局 : 第2回委員会は2月下旬を予定している。

委員一同 : 了解した。

8. 閉 会

[了]